

学科名	建築・デザイン学科						
科目名	建築設計Ⅲ						
科目区分	専門科目	単位数	3	開講時期	前期		
必修・選択の別	建築工学コース:必修、建築コース:必修、デザインコース:選択、						
担当者	井原 徹, 小池 博, 井上 聡, 清原 昌洋						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・中規模用途の建築をデザインし建築構造ならびに建築設備等の技術的検討を加えることができる。(B6) ・建築の条件と敷地の条件を的確に把握できる。(B6) ・建築の全体と関係付けて細部のデザインを行うことができる。(B6) ・設計された案を適正にプレゼンテーションすることができる。(A7,B6) 						
日程と内容	<p>第1回(4/14): 導入講義: 授業の進め方と概要の説明、成績評価法、設計のまとめ方等</p> <p>第2回(4/21): 課題-1「展示施設」 課題の理解。資料配布</p> <p>第3回(4/28): エスキス指導-敷地条件の理解・建築と条件の確認と立案</p> <p>第4回(5/9): エスキス指導-機能条件の理解・動線処理と機能構成による立案</p> <p>第5回(5/12): エスキス指導-構造計画と設備計画による立案。エスキスの提出</p> <p>第6回(5/19): 立体構成-断面による空間構成・プレゼンテーション</p> <p>第7回(5/26): 図面提出・プレゼンテーションならびに講評</p> <p>第8回(6/2): 課題-2「教育施設」 課題の理解。資料配布</p> <p>第9回(6/9): エスキス指導-敷地条件の理解・建築と条件の確認と立案</p> <p>第10回(6/16): エスキス指導-機能条件の理解・動線処理と機能構成による立案</p> <p>第11回(6/23): エスキス指導-構造計画と設備計画による立案。エスキスの提出</p> <p>第12回(6/30): 立体構成-スタディ模型による空間構成の検討</p> <p>第13回(7/7): 立体構成-断面図による空間構成の検討</p> <p>第14回(7/14): 計画ならびにデザインコンセプトのまとめ</p> <p>第15回(7/21): 図面提出・プレゼンテーション講評</p>						
成績評価基準	定期試験			実技			
	臨時試験			部外評価			
	報告書・レポート			プレゼンテーション			
	課題	100%		計			100%
	演習						
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・中規模用途の建築をデザインし建築構造ならびに建築設備等の技術的検討を加えることができる。(B6): 達成された。 ・建築の条件と敷地の条件を的確に把握できる。(B6): 周辺状況が理解出来るようになった ・建築の全体と関係付けて細部のデザインを行うことができる。(B6): 全体のデザインは出来るが細部のデザインが荒いといえる。 						
反省点	教員4名体制で1班当たりおおよそ15名をみているが、2時間(180分)でも個別指導では1人当たり10分程度の指導しか出来ない。全体とグループさらには個別指導と時間配分を検討したい。						
来年度の計画	課題に真面目に取り組むために基本計画が時間切れとなることも多い。課題を減らすことも出来ないため、どちらか一方の課題の簡素化を検討したい。						
授業評価アンケートに対するコメント	設計課題のうち図面と模型提出を行っているが、模型制作時期がた学年の提出時期と重複することが多く制作場所の不足が生じている。また、学模型制作時に最小限の制作材料を配布しているにもかかわらず材料の放置がある一方で、材料の増加要求もある。学生の自己管理の徹底をはかりたい。						
履修登録者数	66名	定期試験 受験者数	66名	合格者数	64名	合格率	97%